

フォーサイトニュースレター ー2023年第3号

September 6, 2023

カテゴリー: キャプティブ市場, サイバーリスク, 新型コロナウイルス

タグ: ガーンジー, キャプティブ, キャプティブドミナイル, キャプティブマネジャー, シンガポール, バミューダ, ハワイ, ミクロネシア連邦, ラブアン



2022年世界のキャプティブ保険市場概観（その2）

前回は2022年の世界のキャプティブ市場の概況についてお伝えしましたが、今回のニュースレター第2弾では、**世界各地域のキャプティブ市場の現状**について各種データをご紹介しますながらお伝えします。



1. 世界の地域別キャプティブ数

2021～2022年にかけて世界の稼働キャプティブ総数は6,074件から6,191件へと100件以上（約2%）増加したものの（レンタキャプティブのセルの個数は含まない）、ドミサイルによっては増加と減少の傾向が大きく異なっている。

特に顕著なのは、米国内ドミサイルの上位10ヶ所中1ヶ所以外のすべてのドミサイルでキャプティブ数は増加したものの、ヨーロッパやカリブ海諸島のドミサイルにおいては、一部を除きキャプティブ数の減少傾向が続いたことである。

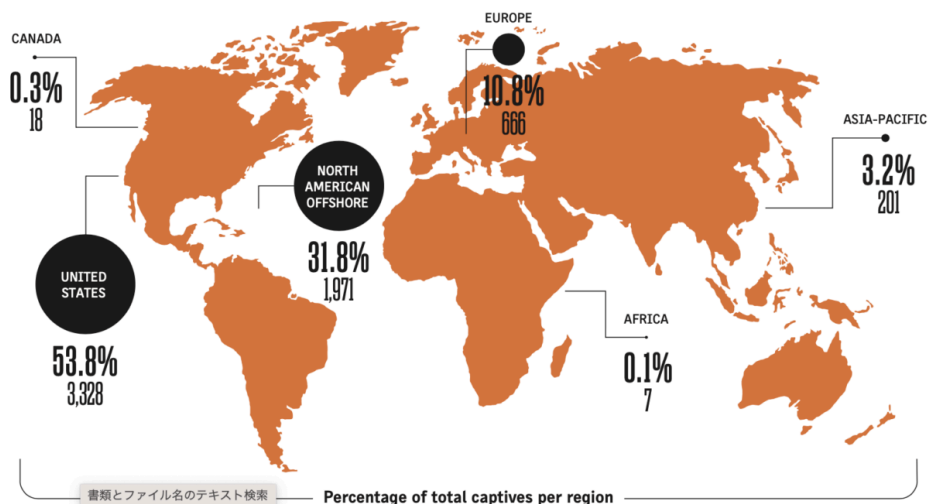
各地域の全世界キャプティブ数に占める割合を見ると、米国・カナダを含む北米地域が54.0%、バミューダ・カリブ海諸島が31.8%、ヨーロッパ・アフリカが10.9%、アジア・太平洋地域が3.2%となっている。以下、各地域におけるキャプティブ市場の動向について述べる。

（表1）2022年度の地域別キャプティブ数

地域	シェア	キャプティブ数
米国	53.8%	3,328
カナダ	0.3%	18
バミューダ・カリブ海諸島	31.8%	1,971
ヨーロッパ	10.8%	666
アフリカ	0.1%	7
アジア・太平洋地域	3.2%	201
合計	100.0%	6,191

ONSHORE/ OFFSHORE BY THE NUMBERS

There were 6,191 captives in 2022, not including microcaptives, series captives or individual cells of cell members in protected cell companies.
Source: Bf survey



(1) 北米

米国各州におけるキャプティブ数は、**ネバダ州以外は前年比で軒並み増加している**。特にノースカロライナ州とサウスカロライナ州では、前年比10%超の増加率を示しており、またアリゾナ州のランキングが2021年度の9位から2022年度には7位へ躍進したのに対して、ネバダ州だけはキャプティブ数が減少傾向にある。また、**バーモント州のキャプティブ数は世界の約10.3%を占め、米国ではナンバーワンのドミサイルであり、このペースで増加すると近い将来世界一のドミサイルになる可能性もある**。

(表2) 米国内ドミサイルの上位10州ランキング (2022年末時点)

順位	ドミサイル	2022年	2021年	増加率
1	バーモント州 (VT)	639	620	3.1%
2	ユタ州 (UT)	419	386*	8.5%
3	デラウェア州 (DE)	330	313	5.4%
4	ノースカロライナ州 (NC)	294	257	14.4%
5	ハワイ州 (HI)	255	250*	2.0%
6	サウスカロライナ州 (SC)	205	183	12.0%
7	アリゾナ州 (AZ)	162	149	8.7%
8	ネバダ州 (NV)	155	161	▲3.7%
9	テネシー州 (TN)	150	148*	1.4%
10	コロンビア特別区 (DC)	113	112	0.9%

* ビジネス・インシュアランス誌 (BI誌) により前回集計からアップデートされたデータ

(2) バミューダ・カリブ海諸島

バミューダおよびケイマンではキャプティブ数の減少傾向が続いているものの、いまだにキャプティブ数では世界第1位および第2位の地位を維持している。一方、その他のカリブ海諸島においても、バルバドス以外は全体的にキャプティブ数が減少傾向にある。オフショアドミサイルとしてのカリブ海諸島でキャプティブ数が減少傾向にある理由の一つには、**米国のオフショア拠点に対する規制監視が強まっているのに対応して、企業がキャプティブを米国内のオンショアドミサイルに移転させる傾向があるためである**。更に人件費の上昇やパンデミックによるプロの人材の流出により、オフショアドミサイルの魅力が削がれてきている面もある。そうした中で、**唯一バルバドスだけがキャプティブ数を増やしている**。その背景としては、バルバドスでは他の先進ドミサイルと同程度のプロフェッショナル人材を割安で調達できること、カナダとの間では古くから租税条約を締結していたため多くのカナダ系企業がサイバー保険やD&O保険の投入先としてバルバドスを選んでいること、そして近年中南米諸国との租税条約の締結交渉を進めることで、積極的に中南米新興企業の新規キャプティブを誘致していることなどがある。

(表3) カリブ海諸島ドミサイルのトップ5 ランキング (2022年末時点)

順位	ドミサイル	2022年	2021年	増加率
1	バミューダ	660*	670*	▲1.5%
2	ケイマン諸島	650**	661	▲1.7%
3	バルバドス	315	308***	2.3%
4	ネイビス	102	122	▲16.4%
5	タークス&カイコス諸島	71	71	0.0%

* BI誌推定 ** ウェブサイトより *** BI誌により前回集計からアップデートされたデータ

(3) ヨーロッパ

2021年にガーンジーとルクセンブルグはキャプティブ数で1位タイとなったが、**2022年にキャプティブドミサイル100周年を迎えたガーンジーが再び盛り返してキャプティブ数で単独1位に返り咲いた。**一方、その他のヨーロッパ地域の稼働キャプティブ数が対前年で軒並みマイナスとなっている主な原因は、キャプティブの閉鎖数が他の地域とほぼ同程度であるにも拘らず、ヨーロッパにおける新規キャプティブ設立数が圧倒的に少ないことによる。世界的に保険市場がハードマーケット化する中で新規キャプティブ設立数が低迷している理由には、ヨーロッパでのキャプティブ認可プロセスに時間を要することが一因として挙げられている。米国ドミサイルでは一般的に認可に要する期間が1ヶ月程度であるのに対し、ヨーロッパ諸国のドミサイルでは通常3ヶ月程度かかると言われており、それがキャプティブの新規設立を阻んでいるものと考えられる。

(表4) ヨーロッパのドミサイルトップ5ランキング (2022年末時点)

順位	ドミサイル	2022年	2021年	増加率
1	ガーンジー	201	192	4.7%
2	ルクセンブルグ	195*	192	1.6%
3	マン島	98	99	▲1.0%
4	ダブリン	66	68	▲2.9%
5	スウェーデン	29*	31	▲6.5%

* ウェブサイトより

(4) アジア・太平洋地域

アジアでは、シンガポールがキャプティブ数は若干減少したものの首位をキープした。キャプティブ数減少の原因は、新型コロナウイルス感染症による厳しい出入国制限の影響と推測される。一方、ラバンとミクロネシアにおいてはキャプティブ数が伸びている。その背景には、ミクロネシアが日系企業向けのキャプティブニーズに応える体制を整えている一方、ラバンはアジアのみならず地域外の企業から選ばれるドミサイルとして国際的な競争力強化を目指していることがある。

(表5) アジア・太平洋地域ドミサイルトップ5ランキング（2022年末時点）

順位	ドミサイル	2022年	2021年	増加率
1	シンガポール	82	84	▲2.4%
2	ラバン	67	63	6.3%
3	ミクロネシア連邦	25	23	8.7%
4	ニュージーランド	9*	9*	0.0%
5	バヌアツ	5	5	0.0%

* BI誌推定

2. 世界のドミサイル別稼働キャプティブ数ランキング（2022年末時点）

(表6)

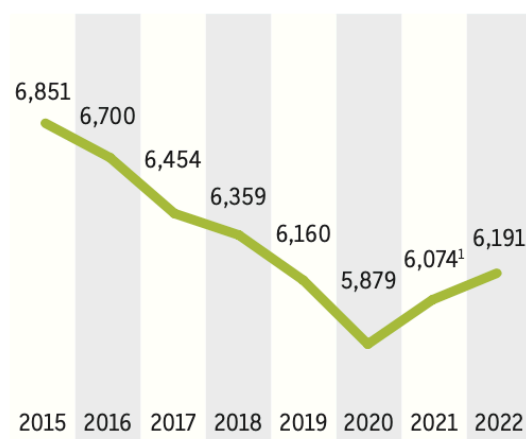
順位	ドミサイル	2022年	2021年	増加率
1	バミューダ	660*	670*	▲1.5%
2	ケイマン諸島	650**	661	▲1.7%
3	バーモント州 (VT)	639	620	3.1%
4	ユタ州 (UT)	419	386***	8.5%
5	デラウェア州 (DE)	330	313	5.4%
6	バルバドス	315	308***	2.3%
7	ノースカロライナ州 (NC)	294	257	14.4%
8	ハワイ州 (HI)	255	250***	2.0%
9	サウスカロライナ州 (SC)	205	183	12.0%
10	ガーンジー	201	192	4.7%
11	ルクセンブルグ	195	192	1.6%
12	アリゾナ州 (AZ)	162	149	8.7%
13	ネバダ州 (NV)	155	161	▲3.7%
14	テネシー州 (TN)	150	148***	1.4%
15	コロンビア特別区 (DC)	113	112	0.9%
16	ネイビス	102	122	▲16.4%
17	モンタナ州 (MT)	101	102	▲1.0%
18	マン島	98	99	▲1.0%
19	シンガポール	82	84	▲2.4%
20	テキサス州 (TX)	73	54	35.2%
21	タークス&カイコス諸島	71	71	0.0%
22	ラブアン	67	63	6.3%

23	ダブリン	66	68	▲2.9%
24	アンギラ	62	78***	▲20.5%
25	コネチカット州 (CT)	57	44	29.5%
26	ジョージア州 (GA)	56	57	▲1.8%
27	ミズーリ州 (MO)	54	52	3.8%
28	アラバマ州 (AL)	51	57	▲10.5%
29	オクラホマ州 (OK)	47	45***	4.4%
30	英領バージン諸島	46	49	▲6.1%
31	ニューヨーク州 (NY)	38**	40**	▲5.0%
32	ケンタッキー州 (KY)	32	34	▲5.9%
33	スウェーデン	29**	31	▲6.5%
34	ミクロネシア連邦	25	23	8.7%
35	スイス	24**	25**	▲4.0%
35	ミシガン州 (MI)	24	24	0.0%
37	セントルシア	20	23	▲13.0%
37	ニュージャージー州 (NJ)	20*	20	0.0%
39	ブリティッシュ・コロンビア州	18	19	▲5.3%
39	プエルトリコ	18*	18*	0.0%
41	アーカンソー州 (AR)	15	14	7.1%
42	サウスダコタ州 (SD)	14	16	▲12.5%
42	バハマ諸島	14	14*	0.0%
44	マルタ	11	10***	10.0%
45	ジブラルタル	10	10	0.0%

46	ニュージーランド	9*	9*	0.0%
46	ドイツ	9	9	0.0%
48	リヒテンシュタイン	8	8	0.0%
49	デンマーク	7	8	▲12.5%
49	エジプト	7*	7*	0.0%
49	オハイオ州 (OH)	7	6	16.7%
52	コロラド州 (CO)	6	6	0.0%
52	パナマ	6**	6**	0.0%
52	ノルウェー	6	6	0.0%
55	キュラソー	5	7	▲28.6%
55	バヌアツ	5	5	0.0%
57	香港	4	4	0.0%
57	ネブラスカ州 (NE)	4	4	0.0%
57	ドバイ	4	4***	0.0%
60	メイン州 (ME)	3	3	0.0%
60	グアム	3	3	0.0%
62	米領バージン諸島	2	3***	▲33.3%
62	イリノイ州 (IL)	2	2	0.0%
62	モーリシャス	2	2	0.0%
62	ジャージー島	2*	2*	0.0%
66	カンザス州 (KS)	1	1	0.0%
66	ウェスト・バージニア州 (WV)	1	1	0.0%
合計		6,191	6,074***	1.9%

* BI誌推定 ** ウェブサイトより *** BI誌により前回集計からアップデートされたデータ

TOTAL CAPTIVES WORLDWIDE



¹ Restated
Source: BI survey

3. キャプティブマネジャー上位10社

(表7) 2022年末時点取扱キャプティブ数による世界のキャプティブマネジャーのランキング

順位	会社名	2022年度 合計取扱 キャプテ ィブ数*	うち通 常キャ プティ ブ	うち831 (b)マイ クロキャ プティブ	うち PCC (セル 数)	2022年度キ ャプティブ 取扱保険料 (百万ドル) **	取扱 ドミ サイ ル数	従 業 員 数
1	Marsh Captive Solutions	1,567	1,403	39	125 (316)	\$69,963	54	49 7
2	Aon Captive & Insurance Managemen t	987	900	15	72 (443)	\$54,559	48	55 3
3	Artex Risk Solutions Inc.	831	693	90	48 (1,36 3)	\$17,350	35	63 2
4	Strategic Risk Solutions Inc.	491	405	–	86 (580)	\$7,236	33	23 4
5	WTW Captive & Insurance Managemen t Solutions	336	291	16	29 (69)	\$20,668	35	22 5
6	Risk Strategies Co. Captives***	230	30	187	13 (279)	\$925	18	91
7	Davies Captive Managemen t	186	169	1	16 (285)	\$2,500	23	40

8	Brown & Brown Inc.	106	91	–	15 (20)	\$6,827	20	41
9	USA Risk Group	97	83	–	14 (36)	\$1,900	11	25
10	Innovative Captive Strategies	88	70	–	18 (49)	\$829	9	28

* 2022年末時点で管理されているすべての稼働キャプティブ保険会社数

** マネジャーまたは代理人として管理しているキャプティブの総引受保険料

*** Atlas Captives、OxfordおよびRisk Management Advisorsを含む

出典：ビジネス・インシュアランス誌（2023年3月号）特集レポート – キャプティブ保険

